

# ハマル語の基礎語彙、ならびに動詞形態の考察\*

高橋 洋成

(筑波大学)

s025035@u.tsukuba.ac.jp

## 0 はじめに

本稿はエチオピア南西部、スーダンとケニアの国境に近いオモ川流域で使用されている言語の一つ、ハマル語に関する調査報告である。ハマル語の包括的な記述として Lydall(1976) があるが、高橋(2006) で指摘したように、音韻、語彙の面で現在の姿とは異なる部分も少なくない。教育の向上、道路の整備や携帯電話の普及などに伴い、特に若い人々の移動範囲は広がっている。ハマル語も、その影響を受けて変化している可能性がある。ゆえに、本稿ではハマル語の基礎的な語彙と簡単な文例集の作成、および動詞に関するごく基本的な形態分析を行う。

本調査は 2009 年 2 月に Gamo Gofa の中心地である Arba Minch にて、2 名の調査協力者を得て行われた。1 人は低地オモの Turmi 出身で、現在 Addis Ababa 大学に在籍中の Mulken Gulelat 氏 (19 才)、もう 1 人は Turmi から北東に約 20km の位置にある Dimeka 出身で、現在 Arba Minch 大学に在籍中の Shoma Dore 氏 (21 才) である。興味深いことに、語彙・文法の両面で、お二人から異なるデータが得られることも少なくなかった。本稿では、そうした相違点を可能な限り明記する。

## 1 ハマル語の音素体系

ハマル語の音素に関する考察は高橋(2006)で行ったが、今回の調査データをもとに修正を加えたい。

---

\*本稿は 2007 年度～ 2009 年度科学研究費基盤研究 (B)「オモ・クシ系少数言語の調査研究及び地理情報システムを用いたデータベース構築」代表：乾秀行 (山口大学) (研究課題番号：19401023) による研究成果の一部である。

## 1.1 子音音素

ハマル語の子音音素は以下の通りである。本稿における語の表記もこの表に従う。

	唇音	歯音	硬口蓋音	軟口蓋音	声門音
閉鎖音	p b	t d		k g	ʔ
鼻音		m n		(ŋ)	
震え音			r		
摩擦音		s z š			h
側面音			l		
接近音	w			j	
破擦音			č	j	
放出音		c'	č'		q'
入破音	ɓ	ɗ			

子音音素の音声的特徴に関して、若干の注意点を述べる。

- 閉鎖音 /p/、/k/ は大抵の場合に [pf]~[f]、[x] のような摩擦音として実現する<sup>1</sup>。/t/ は強い気音を伴う。特に /ti/ は [tʰi] に聞こえることもある。
- 鼻音は /m/、/n/ の2個の音素を立てる。/n/ は /g/ の前では [ŋ] として実現する<sup>2</sup>。
- 摩擦音 /š/ は [ʃ] として実現する。また、/s/ は狭母音が後続する際に [t] を伴い破擦音化することがある (e.g. /asi/ [atsi] 「歯」)。/h/ は語頭にのみ出現し、大抵の場合に有声音の [ɦ] として実現する<sup>3</sup>。

<sup>1</sup>しかし、中には必ず閉鎖音として実現する [makan] 「3」のような例も散見される。ゆえに、高橋 (2006: 88) は [k] と [x] が相補分布をなしておらず、互いに独立音素であると見なした。だが、このように必ず閉鎖音として実現する音を、二重子音として考えることもできよう。例えば、/baka/ 「焼く」のように単子音の [k] は (特に /a/ と /a/ の間で) 摩擦音化しやすいのに対し、/makkan/ 「3」が持つのは二重子音 [kk] であるため決して摩擦音化しない。本稿はこの仮説に従い、[k] と [x] が1つの音素 /k/ の異音であると考ええる。

<sup>2</sup>高橋 (2006: 89) では、[nápapa] 「鉈」の存在を根拠に、音素 /n/、/ŋ/ を立てた。しかし現時点で、他に /n/ を持つ語は見つかっていない。この語は /njapapa/ と解釈すべきだろう。しかし、それでも [ŋ] を他の音素の異音と考えるのは困難である。こうした理由から、/ŋ/ を括弧付きで立てておく。それ以外の [ŋ] の出現は環境異音として説明可能である。

<sup>3</sup>高橋 (2006: 90) は /h/ と /ɦ/ の2つの音素を立てているが、語彙聞き取り時の誤りである。

- 破擦音 /č/、/j/ はそれぞれ [tʃ]、[dʒ] として実現する<sup>4</sup>。
- 放出音には /c'/、/č'/、/q'/ の3種類の音素を立てる<sup>5</sup>。特に /q'/ は母音間でしばしば [χ]~[q] として実現する<sup>6</sup>。

## 1.2 母音音素

母音音素は /i/、/e/、/a/、/o/、/u/ が確認され、それぞれ長短の区別を持つ。本稿では長音音素として /:/ を立てる<sup>7</sup>。

音声的な特徴は以下の通りである。

- /i/ は、いわゆる弱化することが多い。その場合、中舌の [i]~[ə] になるか、あるいは無声化して [j] になる (e.g. /kidi/ [kidi] 「彼」、/kira/ [kɪra] 「これら」、/zagite i da:de/ [zagite i da:de] 「私は探している」)。また、/i/ は子音連続を避ける際の挿入母音としても用いられる (e.g. /ojssa/ [ojsɪsa] 「尋ねさせる」)。
- /e/ は [j]~[ɐ] のように狭い。
- /a/ は [æ]~[ə]~[ʌ] として実現することもある (e.g. /kidan/ [kidʌn] 「彼を」、/sal/ [sæ] 「9」、/č'ači/ [tʃ'ətʃi] 「空」、cf. /č'a:či/[tʃ'artʃi] 「根」)。

## 1.3 アクセント

ハマル語は高低アクセントを持ち、語彙的であると考えられる。だが、アクセント体系を論じるには語彙のみならず文法的な解釈にも踏み込む必要があり、現時点でアクセントの全体像は掴めていない。本稿におけるアクセント表記は表層的なものであり、音韻論的な解釈によるものではないことに注意されたい<sup>8</sup>。

なお、アクセントが形態素境界を示す機能を有する場合がある。例えば、/kínká/ 「一緒に」と /kínka/ 「彼によって」は、語中でアクセントの変化が生じるか否かによって弁別される<sup>9</sup>。

<sup>4</sup>高橋 (2006: 87) は [tʃ] を全て放出音 /č'/ と見なした。しかし、放出音ではない [tʃ] の中には /t/ の硬口蓋化に由来すると考えられることから (e.g. [intéa]~[intʃéa] 「私の」)、/č'/ とは区別した方がよい。さらに、[šoší]~[čoiči] 「客」のような例も存在することから、共時的に見て [tʃ] を /t/ の異音と見なすことも難しい。ゆえに、本稿は [tʃ] として実現する独立音素 /č/ を立てる。

<sup>5</sup>/c'/ は高橋 (2006) で未確認であった。

<sup>6</sup>高橋 (2009: 89) は2種類の音素 /q/、/q'/ を立てたが、これらを区別する根拠は希薄である。

<sup>7</sup>短母音と長母音に関しては高橋 (2006: 82-84) を参照。

<sup>8</sup>語彙の聞き取り調査において、語だけでは引用形としてのアクセントを伴う場合もある。本稿では、他の例文によって明らかに引用形アクセントと思われるものは除外したが、全ての語で徹底されているわけではない。

<sup>9</sup>実際には、前者は常に全音節が等しい高さであるのに対し、後者は高低・低高の両方で発

## 2 動詞形態

現時点で、ハマル語における動詞体系の全体像は掴めていない。ゆえに、本稿では文法的範疇に基づく分類よりも、単にどのような動詞形態がありうるかという形式的な分析を試みた。ここから少しずつ文法的範疇を見出すことを目指す。

ハマル語の動詞の基本構成は、語基 + 語幹形成母音 + 派生接辞（前接語）である。

### 2.1 動詞語基

ハマル語の動詞語基は、基本語基、および、それに派生接尾辞を付加することで形成される。

接尾辞 /-s/ は使役語基を作る。このとき、子音連続を避けるために i が挿入されることがある。

(1) kok- → koks-  
焼く 焼かせる

(2) ašk- → aškis-  
作る 作らせる

また、-s は形容詞を他動詞化する機能も有する。

(3) q'aji → q'ajis-  
冷たい 冷ます

接尾辞 /-ad/ は受動語基を作る。

(4) šed- → šedad-  
見る 見られる

(5) ašk- → aškád-  
作る 作られる

また、/-ad/ は形容詞を自動詞化する機能も有する。

(6) pajja → pajjad-  
良い 良くなる・完治する

/-s/ と /-ad/ は、この順番で同時に用いることができる。この場合、自分の行為が意に添わないものであること、もしくは思いがけないものであったことが強調される。

(7) wod- → (\*wodsad- →) wosad-  
眠る 熟睡する

音されていた。すなわち、アクセントの高低よりも、アクセントの変化によって形態素境界を明示することが重要であるように思われる。

- (8) *delk-* → *delkisaɸ-*  
 言う 言わせられる

接尾辞 */-im/* は行為が継続中であることを表すが<sup>10</sup>、専ら現在・未来に関して述べる場合に */da/* 「いる」と一緒に用いられ、後続の */d/* に同化して */-in/* となることが多い。

- (9) *is-* → (*isim-da* →) *isin-da*  
 食べる 食べている

- (10) *dorq'-* → (*dorq'im-da* →) *dorq'in-da*  
 座る 座っている

接尾辞 */-b/* も確認できるが、現時点で意味は不明である<sup>11</sup>。この接尾辞は専ら継続語幹 *-im* の後ろに現れる。

- (11) *afk-* → *afkimb-* cf. *afkimbi-di ne*  
 作る 作られている (?)

- gob-* → *gobimb-* cf. *gobimbi-di ne*  
 走る 走っている (?)

## 2.2 語幹形成母音

語基には 4 種類の語幹形成母音 */-a/*、*/-i/*、*/-e/*、*/-o/* のどれかが付加され、語幹を形成する。本稿では、それぞれの語幹を便宜上 A 語幹、I 語幹、E 語幹、O 語幹と呼ぶ。また、語幹形成母音を伴わない語幹を  $\emptyset$  語幹と呼ぶ。

### 2.2.1 $\emptyset$ 語幹

$\emptyset$  語幹は継続語基でのみ現れ、常に *da* 「いる」と結び付いて現在時制と未来時制を表す<sup>12</sup>。

- (12) *ró:ro wúl inta noq'o wuč-ín-da ne*  
 日 全て私 水 飲む-継続-いる COPULA  
 「毎日、私は水を飲む。」

- (13) *saka inta delk-is-aɸ-ín-da ne*  
 明日 私 話す-使役-受動-いる COPULA  
 「明日、私は（無理矢理）話させられるだろう。」

<sup>10</sup>Lydall(1976: 417) では *progressive* と呼ばれている。

<sup>11</sup>調査において接尾辞の存在は確認できたものの、この接尾辞が現れる自然な例文を作るのが困難であった。

<sup>12</sup>Lydall(1976: 418) における *immediate stem* に対応する。ただし、Lydall の記述と異なり、そのままの形で用いられることは極端に少ない。動詞語幹によっては、連文を作るときに使うことができる (Dimeka 出身の Shoma 氏による)。e.g. *ogoam kidi de:sab, hajájse isídí ne* 「彼はそれらを殺し、その後食べた。」

### 2.2.2 A 語幹

A 語幹は行為そのものを示す<sup>13</sup>。

そのままの形で、特定の相手に対する命令もしくは依頼を表す。

(14) ták-a  
切る-a  
「切れ。」

(15) dorq'-a  
座る-a  
「座れ。」

前接語 /da/ 「いる」と結び付くことで単純過去もしくは完了を表す。

(16) tá:kí ko jeʔ-á-de  
今 彼ら 行く-a-いる  
「今、彼らは行った。」

A 語幹を繰り返すことで現在時制および未来時制を表す<sup>14</sup>。

(17) ró:ro wúl inta noq'o wuč-á wuč-a  
日 全て私 水 飲む-a 飲む-a  
「毎日、私は水を飲む。」

(18) saka inta noq'o wuč-á wuč-a  
明日私 水 飲む-a 飲む-a  
「明日、私は水を飲む。」

(19) inta des-á des-a  
私 知る-a 知る-a  
「私は知っている。」

A 語幹 + /-ti/ + 人称代名詞 + /da:de/ で進行相を表す。

(20) inta is-á-ti i da:de  
私 食べる-a-ti 私 いる  
「私は食べている。」

(21) ya isáta (\*is-á-ti a) da:de  
君 食べる-a-ti 君 いる  
「君は食べている。」

<sup>13</sup>Lydall(1976: 418) では perfect stem と呼ばれている。

<sup>14</sup>この形は、専ら Turmi 出身の Muluken 氏が用いており、Dimeka 出身の Soma 氏から聞かれることはなかった。Lydall (1976) にも記述がない。

- (22) kidi is-á-ti ki da:de  
 彼 食べる-a-ti 彼 いる  
 「彼は食べている。」
- (23) kodi is-á-ti ko da:de  
 彼女/彼ら 食べる-a-ti 彼女/彼ら いる  
 「彼女（あるいは不特定の彼ら）は食べている。」
- (24) wodi is-á-ti wo da:de  
 我々 食べる-a-ti 我々 いる  
 「我々は食べている。」
- (25) jedi is-á-ti da:de  
 君達 食べる-a-ti 君達 いる  
 「君達は食べている。」
- (26) inta des-á-ti i da:de  
 私 知る-a-ti 私 いる  
 「私は知ろうとしている。」

進行相は時制を示さない。時制を表す必要があるときは文脈で明示する。

- (27) ta:ki inta is-á-ti i da:de  
 今 私 食べる-a-ti 私 いる  
 「今、私は食べている。」
- (28) na: inta is-á-ti i da:de  
 昨日 私 食べる-a-ti 私 いる  
 「昨日、私は食べていた。」
- (29) saka inta is-á-ti i da:de  
 明日 私 食べる-a-ti 私 いる  
 「明日、私は食べているだろう。」

ところで、A 語幹 + /-ti/ のみでは否定の意味になる<sup>15</sup>。

- (30) inta bula is-á-tí ne  
 私 たまご 食べる-a-ti COPULA  
 「私はたまごを食べていない。」
- (31) inta gob-á-tí ne  
 私 走る-a-ti COPULA  
 「私は走らない。」

<sup>15</sup> 「～ではない」を表す否定の繋辞として /te/ がある。しかし、例文では文末に別の繋辞である /ne/ が存在しているため、ここでは /-ti/ 形を否定の繋辞ではなく動詞の一形態と考えている。

過去時制における否定は /-á:ti/ で示される<sup>16</sup>。

- (32) inta bula is-á:ti ne  
私 たまご 食べる-a:ti COPULA  
「私はたまごを食べなかった。」

### 2.2.3 I 語幹

I 語幹は行為を状態として示す<sup>17</sup>。

/da/ 「いる」と結び付くことで過去時制を表す。

- (33) inta ki-dan a:p-í-di ne  
私 彼-を 見る-i-いる COPULA  
「私は彼を見た。」

もしくは、受動語基から I 語幹を作ることによって形容詞を作る。

- (34) inta hamar apo-n-kal des-af-í-di ne  
私 ハマル 人-定(?) 中 知る-受動-i-いる COPULA  
「私はハマル族の中で有名だ。」

- (35) mete-n burq'-af-í-di ne  
頭-定(?) 痛む-受動-i-いる COPULA  
「頭が痛い。」

### 2.2.4 E 語幹

E 語幹は行為がまだ生じていないが、なされるべきであることを示す<sup>18</sup>。

そのままの形で、不特定多数に対する命令を示す。

- (36) ták-e  
切る-e  
「(大勢に対して) 切れ。」

- (37) dorq'e  
座る-e  
「(大勢に対して) 座れ。」

人称代名詞 + E 語幹は Jussive として用いられる。

- (38) kidi ki afk-é  
彼 彼 作る-e  
「彼が作る (彼に作らせる)。」

<sup>16</sup>Turmi 出身の Muluken 氏のみが用いていた。分詞のように思われるが、現時点で確証がない。

<sup>17</sup>Lydal(1976: 418) では descriptive stem と呼ばれている。

<sup>18</sup>Lydall(1976: 418) では imperfect stem と呼ばれている。



(39) kidi ki afk-ad-é  
 それ それ 作る-受動-e  
 「それは修理されるだろう。」

(40) noq'o i wuč-é  
 水 私 飲む-e  
 「私に水を飲ませてくれ。」

E 語幹 + 人称代名詞 + /da/ + E 語幹は、行為が義務的であることを示す。

(41) inta is-é i de is-e  
 私 食べる-e 私 いる 食べる-e  
 「私は食べねばならない。」

(42) inta noq'o wuč-é i de wuč-e  
 私 水 飲む-e 私 いる 飲む-e  
 「私は水を飲まねばならない (水が飲みたい)。」

なお、「～する必要はない」は /arana/ を用いて表される。

(43) ja noq'o-n arana wuč-e  
 君 水-定(?) 飲む-e  
 「君は水を飲まなくても良い。」

さらに、E 語幹は従属節において未完了相を表す。

(44) na:sa bula-n is-é-e isa i:jímé-a ne  
 少年 たまご-定(?) 食べる-e-分詞(?) 私の 兄弟-(?) COPULA  
 「たまごを食べている少年は私の兄弟だ。」

(45) inta na:sa noqo-n wuč-é-n-k o:ni-n-t a:p-í-di ne  
 私 少年 水-定(?) 飲む-e-不定詞-最中 家-定(?)-中 見る-i-いる COPULA  
 「私は少年が家の中で水を飲んでいるのを見た。」

## 2.2.5 O 語幹

O 語幹はまだ生じていない行為に対する願望を示す<sup>19</sup>。

(46) inta kóti hamar-in apo eso in ni?-á-de  
 私 ここ ハマル-(?) 言葉 覚える-o 私 来る-a-いる  
 「私はここにハマル語を覚えるために来た。」

(47) inta kóti noq'o wučo in ni?-á-de  
 私 ここ 水 言葉 飲む-o 私 飲む-a-いる  
 「私はここに水を飲みに来た。」

<sup>19</sup>Lydall(1976: 418) における purposive stem に対応する。

- (48) noq'o-n wuč-o da  
 水-定(?) 飲む-*o* いる  
 「水を飲んで良い。」

na:sa wuč-á-a jera ka-dan is-ó da  
 少年 飲む-*a*-分詞(?) 人 これ-を 食べる-*o* いる

「飲み終えた子はこれを食べて良い。」

## 2.3 その他の派生接辞

語幹に付加される派生接辞に関し、本稿では不定詞のみを採り上げる。

### 2.3.1 不定詞

不定詞は語幹に /-n/ を付けることで形成され、名詞のように扱われる<sup>20</sup>。

- (49) inta hamar-in apo dalk-a-n des-i-di ne  
 私 ハマル-定(?) 言葉 話す-*a*-不定詞 知る-*i*-いる  
 「私はハマル語を話すことを知っている。」

- (50) inta is-a-n-na zag-í-dí ne  
 私 食べる-*a*-不定詞-FOR 欲する-*i*-いる COPULA  
 「私は食べたい。」

- (51) inta na:sa-dan katama-n-te ki je?-e-n-k a:f-í-di ne  
 私 少年-を 町-定(?)へ 彼 行く-*e*-不定詞-最中 見る-*i*-いる COPULA  
 「私は少年が町へ行くのを見た。」

## 3 語彙・文例集

以下にハマル語の基礎語彙および文例を掲載する。表の前半は名詞・形容詞、後半は動詞である。なお、<TURMI> は Turmi 出身の協力者のみから、<DIMEKA> は Dimeka 出身の協力者のみから得られたものであることを示す。

### 3.1 名詞・形容詞

頭 (ひたい、グループ)	mete metena 「多数の頭」 meten bučídú (burq'adídu) 「頭が痛いのか？」
顔	woti <DIMEKA> wotino 「多数の顔」
手 (肩、腕、指)	á:n

<sup>20</sup>Lydal(1976: 428)における conditional clause を作る /n(a)/ に対応すると考えられるが、条件節に限らず出現する。

	á:ntá isa 「私の手」
	á:ntá asa 「君の手」
	á:ntá kisa 「彼の手」
	á:ntá wosa 「我々の手」
	á:ntá jesa 「君達の手」
	á:ntá isa burq'adaǰ 「私の手は痛くない。」
髪 (毛)	si:ti si:ti aškée 「床屋」
目 (種)	a:pi a:pina 「多数の目」 <TURMI> a:pina inna 「私の2つの目」 <TURMI> a:pi (a:pino) inno 「私の1つの目」 a:pi lama 「2つの目」 <DIMEKA> háq'a a:p 「花の種」 <DIMEKA> <sup>21</sup>
耳	q'a:mi
鼻	nuki nukino, nukina 「多数の鼻」
口 (唇、言葉)	apo apono wonno 「我々の口」 apona jenna 「君達の口 (言葉)」
歯	asi asino, asina 「多数の歯」
舌	atábá atábáno, atábána 「多数の舌」 atábá inčée 「私の舌」 atábá jencée 「君達の舌」
ひげ	buši bušino, bušina 「多数のひげ」
首	q'ó:č'á 「うなじ」 <DIMEKA> izaq'e 「のど」 <DIMEKA>
体	buší <DIMEKA> bušino 「多数の体」
肩	kapana <DIMEKA> kapanno 「両肩、多数の肩」

<sup>21</sup>語末の i は聞こえない。

乳房	sadá <DIMEKA>
腹	í:
背中	bágádé <TURMI> zíga <DIMEKA> bágádénó, bágádéná 「多数の背中」
足	ro: ka ro:ta inno ne 「これは私の足だ。」
尻	gobózí <DIMEKA>
爪	bógo bógono 「多数の爪」
尾	sa:má
皮 (皮膚)	éfi
骨	le:pi <DIMEKA>
血 (血族)	ma?ásí <DIMEKA> ma?ásíno 「多量の血、多数の血族」
心臓	wójlamí <DIMEKA> wójlamíno, wójlamína 「多数の心臓」
涙	ermati <DIMEKA>
唾	pásí <DIMEKA>
父 (持ち主)	ímba ímba inčée 「私の父」 kidi ímba inčéa ne 「彼は私の父だ。」 <TURMI> kidi ímbo intéa ne 「彼は私の父だ。」 <DIMEKA>
母	inda kodi inda inčéa ne 「彼女は私の母だ。」 <TURMI>
子 (赤ん坊)	na:si na:sa 「男児」 na:no 「女児」 kidi na:sa kinčéa ne 「彼は彼の子だ。」 kidi na:sa končéa ne 「彼女は彼女の子だ。」 na:si inno maq'an ne 「私の子は 3 人だ。」 na:sa inna maq'an ne 「私の女児は 3 人だ。」

	ka haj ná:si ne 「あの（男）子は誰だ。」
	koro haj ná:si ne 「あの（女）子は誰だ。」
男子	<b>angi</b> angina 「男子達」 angina lama, má:no kala 「男子が 2 人、女子が 1 人」
女子	<b>má:</b> má:na 「女児子」 má:na lama, angée kala 「女子が 2 人、男子が 1 人」
兄弟	<b>išími</b> išímina 「兄弟達」
姉妹	<b>kani</b> kanna 「姉妹達」
祖父母	<b>ejke</b>
おじ	<b>ímbasa išímé</b> (lit. 「父の兄弟」) ímbasa išímé inno 「私のおじ」 ímbasa išíména 「おじ達」 ímbasa išíména inna 「私のおじ達」 kidi ímbasa išíméa ne 「彼は私のおじだ。」
おば	<b>á:ka</b> á:ka inno 「私のおば」 á:kana inna 「私のおば達」
夫	<b>gešóa</b> kidi gešóa kontea ne 「彼は彼女の夫だ。」 <DIMEKA>
妻	<b>gešénó</b> kodi gešénó kinno ne 「彼女は彼の妻だ。」 <DIMEKA>
名前	<b>na:bi</b>
家族（親戚）	<b>e:dá</b> e:dá ínnó 「私の家族」 e:dáná ínná 「私の家族達」
友人	<b>a:námó</b> a:námóna inna 「私の友人達」 kidi a:námó inno ne 「彼は私の友人だ」
隣人	<b>šudí o:no</b>

客	šoší <TURMI> čo:či <DIMEKA> šošína inna ne 「私の客だ。」
人	e:di e:da 「人々」
もの 労働者 商人	jer wadmá e:di nagadé nagadéná 「商人達」 ja nagadénó 「君は商人か？」
農民	ha:mín kojée ha:mín kojájna 「農民達」
医者	akímí <TURMI> akímíno, akímína 「医者達」 mó:rá <DIMEKA>
薬	de:šá de:šán aškée 「薬師」
傷	hajimi hajimino, hajimina 「大怪我」 hajimo 「患者」
乞食 長老	míske e:di donza donzana wanna 「我々の長老達」
神	barjó barjón o:nin 「教会」 barjó ime 「ありがとう (lit. 神が与えられん)。」
食べ物	galá galáná 「沢山の食べ物」
朝食	burín gala burín galano 「沢山の朝食」
夕食	so:tín gala so:tín galano 「沢山の夕食」
インジェラ たまご	balaša búla <TURMI> múq'a <DIMEKA>

	6úlano, 6úlano 「多数のたまご」
塩	suq'o <TURMI> sú:q'o <DIMEKA> suq'ona 「沢山の塩」
バター	waq'átí waq'átína 「沢山のバター」
油	waq'ati waq'atino 「多量の油」
脂	mo:r mo:rro 「多量の脂」
肉	wá: wá:no inno 「私の肉」 wá:na inna 「沢山の私の肉」
ナイフ	alpá alpáno, alpána 「多数のナイフ」
スプーン	kúlí kúlína, kúlla 「多数のスプーン」 kúlla 「多数のスプーン」 cf. kuri 「蜂蜜」、q'ulí 「ヤギ」
皿	šárq'a (<Amharic)
コーヒー	buno bunna 「多量のコーヒー」
紅茶	šájí šájíno, šájína 「多量の紅茶」
牛乳	ra:ti ranno inno, ranna inna 「多量の牛乳」
水	noq'o noq'ona inna 「多量の水」 inta noq'on wuč'idi ne 「私は（歓迎の）水を飲んだ。」
唐辛子	barbara barbarano, barbarana 「多量の唐辛子」
ジャガイモ	dingiša dingišano, dingišana 「沢山のジャガイモ」
トマト	timatimo

	timatimono, timatimona 「沢山のトマト」
ソルガム	isíní isíno inno, isína inna 「沢山の私のソルガム」
シヨウガ	jérmá
バナナ	muz (<Amharic)
パパイヤ	papaja (<Amharic)
レモン	lo:mi (<Amharic)
マンゴー	manga
動物	dabi dabitono 「雌の動物」
牛	wa:ki wangana inno 「私の牛達」
子牛	o:ta o:tana 「子牛達」
雌牛	o:to
馬	párdá
ロバ	ukuli ukulla inna 「沢山の私のロバ達」
犬	q'aski q'askino, q'askina 「沢山の犬達」
猫	wúro wúrona 「沢山の猫達」
鳥	áttí áttína, attena 「沢山の鳥達」
ライオン	zóbo zóbona 「沢山のライオン達」 zotta 「雄ライオン」 zottono 「雌ライオン」
羊	ja:ti ja:tina (ja:nna) inna 「沢山の私の羊達」
ヤギ	q'uli q'ulla inna 「沢山の私のヤギ達」 q'ulta 「雄ヤギ」 q'ultono 「雌ヤギ」
子ヤギ	anq'ana <TURMI>



	<b>anq'asi</b> <DIMEKA>
	anq'anna 「沢山の子ヤギ達」
	cf. ánq'ásí, ánq'ác'í 「ハチ」
ハイエナ	<b>gudúrí</b>
	gudúrína 「沢山のハイエナ達」
ニワトリ	<b>bá:ša</b>
	bá:šana 「沢山のニワトリ達」
ネズミ	<b>untíní</b>
	untúnna inna 「沢山の私のネズミ達」
ウサギ	<b>segére</b>
	segérena 「沢山のウサギ達」
ゾウ	<b>dongór</b> <TURMI>
	dongára 「沢山のゾウ」
	<b>dongari</b> <DIMEKA>
	dongarra 「雄ゾウ」
	dongartóno 「雌ゾウ」
サル	<b>gaja</b>
カバ	<b>ha:de</b>
ヘビ	<b>guni</b>
	gunta 「雄ヘビ」
	guntono 「雌ヘビ」
	gunna 「多くのヘビ」
ワニ	<b>gurgur</b>
	gurgurta 「雄ワニ」
	gurgurtono 「雌ワニ」
	gurgurra 「多くのワニ」
カエル	<b>panáq'</b>
	panánq'a, panq'á 「多くのカエル」
ニシキヘビ	<b>q'alsi</b>
	cf. q'alši 「ベルト」
魚	<b>ká:ra</b>
チョウ	<b>le:pá</b>
	le:pána 「沢山のチョウ」
ハチ	<b>ánq'ásí</b> <TURMI>

	<b>ánq'ác'í</b> <DIMEKA> <sup>22</sup>
	ánq'ásíná 「沢山のハチ」
	cf. anq'ana, anq'asi 「子ヤギ」
ハエ	<b>kutúmbo</b>
	kutúmbona 「沢山のハエ達」
蚊	<b>q'awn kutúmbo</b> <TURMI>
	<b>zí:ní</b> <DIMEKA>
	q'awn kutúmbona 「多くの蚊」
	zínno 「多くの蚊」
槍	<b>banq'í</b>
狩り	<b>adámá, adímá</b>
太陽	<b>haj, hajjo, hají</b>
	hajna 「沢山の太陽」
	hajno koro kina ojǰidi ne 「今日は暑い。」
月 (ひと月)	<b>arpi</b>
	arpina 「沢山の月」
	árpínó kóró kína mé:m haj né
	「彼 (赤ん坊) は何か月だい。」
星	<b>ke:zini</b> <TURMI>
	<b>e:zín</b> <DIMEKA>
	ke:zinna 「沢山の星」
	e:zínno 「沢山の星」
雲	<b>po:ló</b>
	po:lá 「大量の雲」
空	<b>č'ači</b>
	č'ačino wonno 「我々の空」
	č'ačita 「上に」
	cf. č'a:či 「根」
地 (土)	<b>pe:</b>
	pe:no wonno 「我々の地」
	pe:na 「大きな土地」
山	<b>ǰuka, gemari</b>
	ǰukana 「沢山の山」
川 (湖)	<b>bajti</b>

<sup>22</sup>Dimeka 出身の Shoma 氏の発音は明らかに放出音であり、anq'asi 「子ヤギ」 (/si/ が [ʰsi] に聞こえる) とは区別されていた。

	<b>báz, bázi</b>
	bajno wonno 「我々の川」
	bajno wonna 「我々の大きな川」
	bázino, banno, bázina 「大きな川 (湖)」
舟	<b>gongola</b>
	gongolla 「沢山の舟」
森	<b>q'áw</b>
草原	<b>pe:ta wodá</b> (lit. 「横たわった土地」)
	pe:tana wodá inna 「私の広い草原」
石	<b>se:ni</b>
	se:nna 「沢山の石」
穴	<b>ó:ló</b>
木	<b>há:q'á</b>
	há:q'ánó, há:q'ana 「沢山の木」
	há:q'ása 「木の、木製の」
枝	<b>antí</b>
葉	<b>q'álbe, q'álbi, q'álbo</b>
花	<b>abáb</b>
	abábno, abábna 「沢山の花」
草	<b>šudí</b>
	šunna inna 「沢山の私の草」
根	<b>č'a:či</b>
	cf. č'ači 「空」
鍬	<b>kojá</b>
	kojsadídi ne 「よく耕された。」
斧	<b>tetibe</b>
	tetimbo 「多数の斧」
風	<b>gebáre</b> <TURMI>
	<b>gibáro</b> <DIMEKA>
	gebárena 「大風」
	gibárró 「大風」
雨	<b>do:bi</b>
	dommo 「大雨」
	inta turmi do:bi q'orma je?ídi e <sup>23</sup>

<sup>23</sup>文末は /ne/ ではない。

	「私は乾期 (lit. 乾いた雨) にトゥルミへ行く。」
	do:bínó q'anáte ko dá:de
	「雨が降っている (lit. 雨が打っている)。」
火 (明かり)	nu: nu: háq'a 「薪」 nu: háq'ano 「大量の薪」
煙	čúbí čúbínó 「大量の煙」
灰	díbí díbíno 「大量の灰」
坂	ďuka otá
町	katámá
村	gurda gurdano, gurdana 「村々」
道	goj, gojti gojna wanna 「我々の道々」 gojti sagídí ne 「道を通った。」
着物	apála apála inna, apálo inno 「沢山の私の服」 apalán aškée 「服屋」
男着	bogge boggena inna 「沢山の私の男着」
女着 (革製)	ajzi ajna inna 「沢山の私の女着」
ベルト	q'alši cf. q'alši 「ニシキヘビ」
太鼓	tarbí tarbíno 「多数の太鼓」
朝	buri
昼 (日)	ro:ro ró:ro wúl 「毎日」
夕方	so:tí
夜	ša:kina <TURMI> ibá:nin <DIMEKA> bre ibá:nin 「今夜」

夢	na: ibá:nin 「昨夜」 ha:ma, hajma ha:ma apídi ne 「夢を見た。」 ha:maɸidi ne 「夢を見た。」
今日	kina
昨日	na:
一昨日	angala <TURMI> ángás <DIMEKA>
昔 (過去)	éna
明日	saka
明後日	ošála
明々後日	osombar <TURMI>
四日後	okkonajt <TURMI>
先 (未来)	okónta hájtana <DIMEKA>
今	ta:ki
週	gabá gabá kala sagídí ne 「一週間が過ぎた。」 inta gabá kala sagájse addis ababa je?ídí ne 「私は一週間前にアジスアベバへ行った。」 inta gabá kala kapájse addis ababa je?índa ne 「私は一週間後にアジスアベバへ行く。」
年	le?e le?e kisa mé:m haj ne 「彼は何歳か。」
白	č'awli, č'ajli se:nna č'awli lama inno 「私の 2 個の白い石」 kanka ka: č'awli ne 「その車は白い。」
黒	tija <TURMI>
赤	c'íjá <DIMEKA> dera <TURMI> zawi <DIMEKA> se:ni zawí 「赤い石」 se:nna zawa agá inno ne 「この赤い石は私のだ。」 se:nna zawa intéa ba: ne

	「私の赤い石は上にある。」
	se:nna zawa intéa ʃa: ki da:de
	「私の赤い石は上にある。」
緑	č'agáji
黄	galáp
椅子 (携帯椅子)	borq'oto
	borq'otono, borq'otona 「多数の椅子」
戸	keri
	kerro inno 「私の戸」
	kerra wanna 「数々の我々の戸」
家	o:no <TURMI>
	o:ni <DIMEKA>
	o:nono, o:nna 「沢山の家」
	o:ni inno 「私の家」 <DIMEKA>
	o:nna kira 「これらの家々」 <DIMEKA>
トイレ	ša:ni o:no
新しい	hali
	hali o:no 「新しい家」
	o:nno hali 「新しい家々」
古い	gučó <TURMI>
	gečó <DIMEKA>
大きい (広い、値が高い)	ga:ri <TURMI>
	gefi <DIMEKA>
	o:nna ga:rá 「最大の家」
	peta ga:ri ne 「土地が広い。」
	cf. ga:lá 「食べ物」
小さい (狭い、安い)	likka <sup>24</sup>
	pe:no likka ne 「土地が狭い。」
良い (美しい)	pajjá
	pajjáu 「元気か？」
	pajjá ne 「元気だ。」
悪い (汚い、難しい)	síja
長い (背の高い)	gudúb <TURMI>
	gudúfi <DIMEKA>

<sup>24</sup>[lika] の [k] は決して [x] にならないので、ここでは音韻論的に二重子音と考えている。1.1 節を参照。

	é:na gudúmma 「背の高い人々」
短い (背の低い)	órógó
暖い	osmá osma <TURMI> kina pé:no osmá osma 「今日は天気が良い。」
熱い	ojđi inta noq'o ojđan q'ajisidi ne 「私はお湯を冷ました。」
冷たい (寒い)	q'aji, q'aja cf. q'aja 「疲れる」
甘い	da:tá da:ta <TURMI> galá ka da:tá da:ta 「この食べ物は甘い。」 galá ka da:tídi ne 「この食べ物は甘い。」
苦い	taq'imá taq'ima <TURMI> taq'imá ki taq'ími 「(それは) 苦い」
遠い	pegé đuka aga pegé ne 「この坂は長い。」
近い	te:zi
重い	detá détá <TURMI> dec'a <DIMEKA> detídi ne 「重い。」 se:nno koro dec'a ne 「この石は重い。」
軽い	detée noq'ono detée 「軽い水」
豊かな	odómo
貧しい	kopí
開いた	bulimi kero bulimi ne 「戸が開いている。」
閉じた	ditimi
太った	durpi
痩せた	ganč'a ja ganč'a ne 「君は痩せている。」
全ての	pajla, wúl
多くの	gebi <TURMI> búc' <DIMEKA> đáci, páci 「大量の、容器一杯の」 <DIMEKA>

必要な	jara ka inta zaga zaga <TURMI> 「lit. 私はこの物を欲している。」
清潔な	o:ne aká sa:dídi ne 「この家はきれいだ。」
上	ʃa: ʃa: kóro hare 「上にあるあれは何だ。」 cf. č'ačita 「上に」
下	čó:
中	íjinte ja íjinte hare 「(部屋の) 中にいる君は誰だ。」
外	ʃalínte ʃalínte ha:rae 「外にいるのは誰(何)だ。」
左	walakata
右	mizáq'á
前	birá
後	budo
私	inta
君	ja
私達	wodi
君達	jedi
誰	haj
何	har
1	kala
2	lama
3	makkan
4	ojdí
5	dong
6	lak
7	toʃa
8	lánkáj
9	sal
10	táʃí
11	táʃí kala
12	táʃí lama
20	é:dí kala kajśá <sup>25</sup>

<sup>25</sup>直訳は「1人分」すなわち指20本の意。



	bóndi lama <sup>26</sup>
21	é:dí kala kajśá apo kala
	bóndi kala be búre lama be
30	é:dí kala kajśá apo tábí
	bóndi makkán
40	é:dí lama kajśá
	bóndi ojdí
100	é:dí dong kajśá
	đib
	búre mato kala (<Amharic)
1000	ši: kala (<Amharic)

### 3.2 動詞

見る	šedá 「見よ。」 šedité i dá:de 「私は見ている。」 šedídí ne 「見た。」 šedadídi ne 「見られた。」 šedsídi ne 「見せた、世話をした。」 šedsadídi ne 「世話をされた。」
探す (望む)	zagá 「探せ。」 zagité i dá:de 「私は探している、欲している。」 zagídí ne 「探した。」 zagadaídi ne 「探された。」 zagsídi ne 「探させた。」 zagsadídi ne 「探させられた (命じられて探した)。」
聞く	esara, q'ansa 「聞け。」 esaraté e dá:de 「私は聞いている。」 esaradí ne 「聞いた。」 esaradídi ne 「聞られた。」 esarsídi ne 「聞かせた。」 esarsadídi ne 「聞かせられた (子が親に)。」
吐く	c'a?á 「吐け。」 c'a:sa 「吐かせろ。」
疲れる	q'ajídí ne 「疲れた。」

<sup>26</sup>主にお金を数えるときに用いられる。

	q'ajadídi ne 「ひどく疲れた。」 cf. q'aji 「冷たい」
治る	pajja ma:tídí ne 「良くなった。」 pajjadídi ne 「ほぼ完治した。」
着る	arsá 「着ろ。」 arsídi ne 「着させた。」 arsadídi ne 「着させられた (子が親に)。」
洗う	šájá 「洗え。」 šajádídi ne 「洗われた。」 šajsídi ne 「洗わせた。」 šajsadídi ne 「洗わせられた。」
髪を結う	apá 「結え。」 apádídi ne 「結われた。」 apsídi ne 「結わせた。」 apsadídi ne 「結わせられた。」
縫う	ja:gá 「縫え。」 ja:gádídi ne 「縫われた。」 ja:gsídi ne 「縫わせた。」 ja:gsadídi ne 「縫わせられた。」
料理する	baká 「料理しろ。」 baksídi ne 「料理させた。」
焼く	kóka 「焼け。」 kokádídi ne 「焼かれた、燃えた。」 koksídi ne 「焼かせた。」 koksadídi ne 「焼かせられた。」
消す	nu:n desa 「火を消せ。」 desádídi ne 「(誰かに火を) 消された。」 desisídi ne 「消させた。」 desisadídi ne 「消させられた。」
乾く	wačídi ne, c'edídi ne 「乾いた。」
食べる	kumma, isa 「食べろ。」 kunsídi ne 「食べさせた。」 kunsadídi ne 「食べさせられた。」
飲む	wuśá 「飲め。」 wuč'ísa 「飲ませろ。」

腹がへる	da:kardídi ne 「腹がへった。」
腐る	si:dí ne 「悪くなった。」 cf. síja 「悪い」
作る (建てる)	aška 「作れ。」 aškádídi ne 「作られた。」 ašksídi ne 「作らせた。」 ašksadídi ne 「作らせられた。」
閉める	di:sa 「閉める。」 di:sádídi ne 「閉められた。」 di:ssídi ne 「閉めさせた。」 di:ssadídi ne 「閉めさせられた。」
掃く	saʔa 「掃け。」 sa:dídi ne 「掃かれた。」 sa:sídi ne 「掃かせた。」 sa:sadídi ne 「掃かせられた。」
育てる	geʔa 「育てろ。」 geʔadídi ne 「育てられた。」 geʔsídi ne 「育てさせた。」 geʔsadídi ne 「育てさせられた。」
死ぬ	dija 「死ぬ。」 di:sídi (desídi) ne 「殺した。」 di:sadídi (de:sadídi) ne 「殺された。」 di:sabídi ne 「(食べるために家畜を) 殺した。」
噛みつく	gaʔa 「噛みつけ。」 gaʔadídi ne 「噛みつかれた。」 ga:sídi ne 「噛みつかせた。」
飛ぶ	da:ʔa 「飛べ。」 da:ʔadídi ne 「飛ばせた。」 da:ʔsadídi ne 「飛ばせられた。」
耕す	bijá 「耕せ。」 bijadídi ne 「耕された。」 bijsídi ne 「耕させた。」 bijsadídi ne 「耕させられた。」 dú:ka 「耕せ。」 du:kadídi ne 「耕された。」

	du:ksídi ne 「耕させた。」
	du:ksadídi ne 「耕させられた。」
	cf. kojá 「鋤」
眠る	woða 「眠れ。」
	wo:sídi ne 「眠らせた。」
	wosadídi ne 「よく眠った。」
立つ (目を覚ます、始める)	ða:ða 「立て、起きろ。」
終わる	ða:ða 「終われ。」
座る (住む)	dorq'a 「座れ。」
	dorq'ití i dá:de 「私は座っている。」
行く	je?e 「行け。」
	je?enda ne 「行く。」
	je?sa 「行かせろ。」
	je?sadídi ne 「(大勢で) 行かせられた。」
来る	ni?a 「来い。」
	ni?sa 「来させろ。」
	ni?sadídi ne 「来させられた。」
入る	arda 「入れ。」
	arsisa 「入れさせろ。」 <sup>27</sup>
	arssadídi ne 「入れろ。」 <sup>28</sup>
	noq'onte ijín arda 「沈む (lit. 水の中に入る)」
出る	utá 「出ろ。」
	utisídi ne 「出させろ。」
	utisada 「出せ。」
	utúmá 「動け。」
	inta onira utídí ne 「私は家から出た。」 <sup>29</sup>
到着する	jeska 「到着せよ。」
	jeskadídi ne 「(誰かが自分の所に) 到着した。」
	jeskisídi ne 「到着させた。」
	kinka jeskisa 「彼に迎えに行かせよ。」
通る (渡る)	saga 「通れ。」
	sage 「(皆) 通れ。」
	sagadídi ne 「(寝ているとき誰かに体の上を) 通られた。」

<sup>27</sup>/ss/ のような子音結合を避けるため、ほぼ無声化した [j] が挿入される。

<sup>28</sup>こちらは /ss/ のように子音結合している。

<sup>29</sup>onira 「家から」は [o:nira]~[o:nəra] にも聞こえる。

	sagsídi ne 「通らせた。」
	sagsadídi ne 「通らせられた。」
言う	<b>ɖelka, ɖelaka</b> 「言え。」
	ɖelkádídi ne 「言われた。」
	ɖelkisídi ne 「言わせた。」
	ɖelkisadídi ne 「言わせられた。」
呼ぶ	<b>gisma</b> 「呼べ。」
	gismádídi ne 「呼ばれた。」
	gisinsídi ne 「呼ばせた。」
	gisinsadídi ne 「呼ばせられた。」
	inta jaʔin gismídi ne 「私は君を呼んだ。」
	inta ha:m gismídi ne 「私は君を呼んだ。」
尋ねる	<b>ojsa</b> 「尋ねろ。」
	ojsadídi ne 「尋ねられた。」
	ojsisídi ne 「尋ねさせた。」
	ojsisadídi ne 「尋ねさせられた。」
教える	<b>tammarsa</b> 「教えろ」 (< Amharic?)
	inta ha:m hamar apo tammarsínda ne
	「私は君にハマル語を教えている。」
	ʔej, inta hanka tamarínda ne
	「いや、私は君に教わっている。」
遊ぶ	<b>jíjga</b> 「遊べ。」
	jíjgisídi ne 「遊ばせた。」
	jíjgisadídi ne 「遊ばせられた。」
歌う	<b>ɖa:sa</b> 「歌え。」
	ɖa:sádídi ne 「(歌の中に自分の名が) 歌われた。」
	ɖa:sisídi ne 「歌わせた。」
	ɖa:sisadídi ne 「歌わせられた。」
投げる	<b>dorba</b> 「投げろ。」
	dorbisídi ne 「投げさせた。」
	dorbisadídi ne 「投げさせられた。」
叱る	<b>ɖaga</b> 「叱れ。」
	ɖagadídi ne 「叱られた。」
	inta kizer ɖagadídi ne 「私は彼に叱られた。」
打つ	<b>q'ana</b> 「打て。」

	q'anadǎdi ne 「打たれた。」
	q'anisǎdi ne 「打たせた。」
	q'anisadǎdi ne 「打たせられた。」
	cf. q'ansǎdi ne 「聞いた。」
与える	ima 「与えろ。」
	imadǎdi ne 「与えられた。」
	imisǎdi ne 「与えさせた。」
	imisadǎdi ne 「与えさせられた。」
	imǎdi ne 「(私に) くれた。」
送る	nita 「送れ。」
	nitisǎdi ne 「送らせた。」
盗む	di:ba 「盗め。」
	di:badǎdi ne 「盗まれた。」
	di:bisǎdi ne 「盗ませた。」
	di:bi, di:ba 「泥棒」
	di:bi, di:bina 「泥棒達」
待つ	ka:la 「待て。」
	ka:lsǎdi ne 「待たせた。」
	ka:lsadǎdi ne 「待たせられた。」
	inta kađan ka:lǎnda ne 「私は彼を待っている。」
笑う	hanča 「笑え。」
	hančadǎdi ne 「笑われた。」
	hančisǎdi ne 「笑わせた。」
	hančisadǎdi ne 「笑わせられた。」
泣く	e:pa 「泣け。」
	e:padǎdi ne 「(病気になり家族に) 泣かれた。」
	e:pisǎdi ne 「泣かせた。」
恐れる	kurtemba 「恐れろ。」
	kurtembadǎdi ne 「恐れられた。」
	kurtembisǎdi ne 「恐れさせた。」
	kurtembisadǎdi ne 「恐れさせられた。」
好む	naša 「好きになれ。」
	našadǎdi ne 「好かれた。」
	našisǎdi ne 「好きにさせる。」
	našisadǎdi ne 「好きにさせられた。」

落ちる	<b>di:na</b> 「落ちろ。」 di:nisídi ne 「落とした。」 di:nisadídi ne 「落とされた。」
持って行く	<b>tija</b> 「持って行け。」 cf. tija 「黒」
置く	<b>o:da</b> 「置け。」 o:dadídi ne 「置かれた。」 o:disídi ne 「置かせた。」 o:disadídi ne 「置かされた。」
隠す	<b>a:ša</b> 「隠せ。」 a:šadídi ne 「隠された。」 a:šisídi ne 「隠させた。」 a:šisadídi ne 「隠させられた。」
押す	<b>iq'a</b> 「押せ。」 iq'adídi ne 「押された。」 iq'sídi ne 「押させた。」 iq'sadídi ne 「押させられた。」
結ぶ	<b>ɖaka</b> 「結べ。」 ɖakadídi ne 「結ばれた。」 ɖaksídi ne 「結ばせた。」 ɖaksadídi ne 「結ばせられた。」
ほどく	<b>bula</b> 「ほどけ。」 buladídi ne 「ほどかれた。」 bulsídi ne 「ほどかせた。」 bulsadídi ne 「ほどかせられた。」
曲げる	<b>omɓa</b> 「曲げろ。」
折る	<b>kombsa</b> 「折れ。」 kombsadídi ne 「折られた。」 kombsisídi ne 「折らせた。」 kombsisadídi ne 「折らせられた。」 <b>q'onc'a</b> 「折れ。」 q'onc'adídi ne 「折られた。」 q'onc'isídi ne 「折らせた。」 q'onc'isadídi ne 「折らせられた。」
切る	<b>táka</b> 「切れ。」

	takadídi ne 「切られた。」
	taksídi ne 「切らせた。」
	taksadídi ne 「切らせられた。」
	inta alpa innonka kidan ta:kídi ne 「私は自分のナイフでそれを切った。」
刺す (書く)	uka 「刺せ。」
	ukadídi ne 「刺された。」
	uksídi ne 「刺させた。」
	uksadídi ne 「(命じられて) 刺した。」
裂く	hatta 「裂け。」
	hattisídi ne 「裂かせた。」
	hattisadídi ne 「裂かせられた。」
泳ぐ	zó:tá 「泳げ。」
	bázin zo:táte sagídí ne 「川を泳いで渡った。」

#### 4 おわりに

本稿では、音素体系の再考、動詞形態の基本的な分析、および収集した語彙と文例を掲載した。動詞形態の分析は、文法範疇を決定し、より多くの語彙と文例を収集するのに役立つだろう。

本調査では踏み込んでいないが、ハマル語は名詞の接尾辞が豊富であり、名詞化した動詞にも様々な形で付加される。よって、名詞形態の分析と、本稿で詳しく扱わなかった動詞の分詞・関係詞形の分析が、次の調査における課題となるだろう。

#### 【参照文献】

Lydall, J. 1976 “Hamar” In M. L. Bender (ed.) *The Non-Semitic Languages of Ethiopia*. Michigan: Michigan State University. 393-438.

高橋洋成 2006 「ハマル語の音素とアクセント」 乾秀行 (編) 『オモ・クシ系少数言語の調査研究及び地理情報システムを用いたデータベース構築 (Cushitic-Omotc Studies 2006)』 81-91.